



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日

上場会社名 アライドテレシスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6835 URL <https://www.at-global.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 大嶋 章禎
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 増田 晴美 (TEL) 03-5437-6007
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	24,922	23.6	1,483	—	1,111	—	745	—
2020年12月期第3四半期	20,166	△4.7	△430	—	△589	—	△665	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 1,124百万円(—%) 2020年12月期第3四半期 △855百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	6.80	—
2020年12月期第3四半期	△6.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	27,380	5,444	19.6
2020年12月期	25,770	4,337	16.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 5,379百万円 2020年12月期 4,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

当期の業績予想につきましては、現時点において未定としています。

(詳細は、[添付資料] P. 3 「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期3Q	109,731,545株	2020年12月期	109,671,545株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	470株	2020年12月期	371株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期3Q	109,717,775株	2020年12月期3Q	109,671,199株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当期の業績予想につきましては、現時点において未定としています。

(詳細は、[添付資料] P. 3 「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年12月期第3四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年9月30日）における当社グループは、持続的な成長と安定的な収益確保を目指し、社会・顧客のニーズに応えるITインフラ管理・運用やサイバーセキュリティ対策などに優れた付加価値の高い製品やサービスの拡充・拡販に努めてまいりました。また、営業・サービス体制の強化のため日本で引き続き人員を増強し、エンドユーザーへのダイレクトタッチによる提案型の営業活動を推進し、国内外でパートナー開拓を実施してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、日本では期初から売上が堅調に推移し、海外ではコロナ禍で先送りされていた設備投資が再開されたことから、売上高は249億22百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

損益面につきましては、人員増強などにより販売費及び一般管理費は増加したものの、増収効果により、営業利益は14億83百万円（前年同期は4億30百万円の損失）となりました。また、支払手数料及び為替差損などの計上により、経常利益は11億11百万円（前年同期は5億89百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億45百万円（前年同期は6億65百万円の損失）となりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの所在地域別セグメントの売上高の概要は、次のとおりです。

〔日本〕

日本では、営業・サービス体制の強化によりエンドユーザーへの提案型営業活動を推し進めるほか、オンラインと対面の双方のメリットを活かした営業・プロモーション活動を実施し、新規顧客・パートナー開拓を進めてまいりました。そのような中、第1四半期（1月～3月）における「GIGAスクール構想」関連の売上拡大に加え、期初から医療市場などで受注が好調に推移しましたが、前期は後半にかけて文教市場の売上が大きく増加したこともあり、成長率は緩やかな伸びとなりました。この結果、売上高は171億20百万円（前年同期比22.5%増）となりました。

〔米州〕

米州では、新型コロナワクチン接種が進み感染防止対策の規制緩和によって滞っていた設備投資再開の兆しが表れ始めました。また、在日米軍基地の居住者向けインターネットサービスの売上が引き続き好調に推移しました。この結果、米州での売上高は33億47百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

〔EMEA（ヨーロッパ、中東及びアフリカ）〕

EMEAでは、新型コロナウイルス感染予防策の規制緩和に伴って投資需要の回復の兆しが見られるようになり、先送りとなっていた顧客の設備投資の予算執行が増加しました。そのような中、防衛関連施設への大型出荷が引き続き好調となりました。この結果、売上高は31億31百万円（前年同期比46.1%増）となりました。

〔アジア・オセアニア〕

アジア・オセアニアでは、オンラインによる各種セミナーの拡充など営業・販促活動を強化し、新規顧客・パートナー開拓を推進してまいりました。一部の国や地域ではロックダウンが実施され、また半導体不足の影響として他社製品の出荷遅延による案件全体の遅れといった状態が見られるものの、これまで滞っていた設備投資の予算執行が多く見られました。この結果、売上高は13億22百万円（前年同期比24.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は273億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億10百万円増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が11億2百万円減少した一方で、現金及び預金が11億67百万円、原材料及び貯蔵品が9億72百万円、仕掛品が1億73百万円増加したことによるものです。

(負債)

負債合計は219億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億3百万円増加となりました。これは主に、短期借入金及び11億27百万円減少した一方で、前受収益が8億63百万円、支払手形及び買掛金が7億73百万円増加したことによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、54億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億6百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が7億45百万円増加したこと、及び為替換算調整勘定が3億72百万円増加したことによるものです。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.1ポイント上昇となる19.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、現在21か国に連結子会社を保有し事業を展開しています。そのため、新型コロナウイルス感染拡大による経済的影響、為替変動、世界的な半導体の需給ひっ迫、米中間の通商摩擦などにより、当社グループを取り巻く事業環境が短期的に大きく変動するリスクがあります。特に海外子会社では中央・地方政府の大型公共事業を手掛けることが多く、政治・経済動向が当社の事業活動に与える影響は大きくなります。このような理由から、当期の業績予想につきましては、現時点（2021年11月12日）で合理的な算定が困難であるため未定としています。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

また、利益配分に関する基本方針として、当社は安定的かつ継続的な株主への利益還元を経営課題として考えるとともに、社会のニーズや技術の進歩・動向などを見据えた研究開発を成長のための必要不可欠な投資と位置づけた上で、経営基盤の強化と財務体質の健全性の保持に努めております。その上で業績に応じた株主への利益還元を実施することを基本方針としています。しかしながら、繰越利益剰余金が欠損の状況にあり、財務基盤の安定を最優先とすることから、配当を見送る予定です。当社は、早期の業績の回復と復配に向けて全力で取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,060,310	5,228,139
受取手形及び売掛金	6,002,054	4,899,908
商品及び製品	3,784,308	3,675,950
仕掛品	324,013	497,539
原材料及び貯蔵品	840,072	1,812,088
その他	1,609,787	1,935,539
貸倒引当金	△90,374	△112,829
流動資産合計	16,530,171	17,936,335
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,675,125	2,738,299
その他(純額)	3,016,319	2,960,215
有形固定資産合計	5,691,444	5,698,514
無形固定資産		
その他	251,131	221,028
無形固定資産合計	251,131	221,028
投資その他の資産		
その他	3,306,975	3,533,394
貸倒引当金	△9,196	△8,396
投資その他の資産合計	3,297,778	3,524,998
固定資産合計	9,240,354	9,444,541
資産合計	25,770,526	27,380,877
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,126,106	2,899,603
短期借入金	2,427,945	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,511,671	1,512,662
未払法人税等	235,946	444,093
賞与引当金	216,014	212,882
前受収益	4,966,194	5,829,714
その他	3,252,596	3,192,715
流動負債合計	14,736,474	15,391,672
固定負債		
長期借入金	2,817,395	2,889,318
退職給付に係る負債	622,278	632,274
リース債務	2,712,204	2,489,775
その他	544,768	533,654
固定負債合計	6,696,647	6,545,023
負債合計	21,433,122	21,936,695

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,014,121	10,019,161
資本剰余金	194,407	199,447
利益剰余金	△5,816,281	△5,070,584
自己株式	△31	△42
株主資本合計	4,392,216	5,147,981
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△136,265	235,743
退職給付に係る調整累計額	△11,475	△4,482
その他の包括利益累計額合計	△147,740	231,261
新株予約権	92,928	64,938
純資産合計	4,337,404	5,444,181
負債純資産合計	25,770,526	27,380,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	20,166,597	24,922,471
売上原価	7,798,135	9,500,455
売上総利益	12,368,461	15,422,015
販売費及び一般管理費	12,798,965	13,938,891
営業利益又は営業損失(△)	△430,503	1,483,123
営業外収益		
受取利息	394	279
受取保険金	27,294	5,809
助成金収入	9,728	5,917
保険戻戻金	6,399	6,399
その他	6,853	2,945
営業外収益合計	50,669	21,350
営業外費用		
支払利息	186,151	190,663
為替差損	17,780	94,504
支払手数料	2,122	104,321
その他	3,717	3,254
営業外費用合計	209,771	392,743
経常利益又は経常損失(△)	△589,605	1,111,730
特別利益		
新株予約権戻入益	—	26,190
特別利益合計	—	26,190
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△589,605	1,137,920
法人税、住民税及び事業税	210,272	341,111
法人税等調整額	△134,188	51,112
法人税等合計	76,083	392,223
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△665,688	745,696
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△665,688	745,696

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△665,688	745,696
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△195,677	372,009
退職給付に係る調整額	6,306	6,992
その他の包括利益合計	△189,371	379,002
四半期包括利益	△855,059	1,124,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△855,059	1,124,699
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日至2021年9月30日)
前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	13,976,881	2,986,390	2,143,819	1,059,505	20,166,597	—	20,166,597
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	416,085	19,551	40,869	5,676,454	6,152,961	△6,152,961	—
計	14,392,967	3,005,942	2,184,688	6,735,959	26,319,558	△6,152,961	20,166,597
セグメント利益又は損失(△)	△366,431	△15,829	△408,001	274,286	△515,975	85,472	△430,503

(注)1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去143,034千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等△57,561千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	米州	EMEA(注) 1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	17,120,338	3,347,866	3,131,594	1,322,671	24,922,471	—	24,922,471
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	106,338	31,949	15,922	4,999,572	5,153,783	△5,153,783	—
計	17,226,677	3,379,815	3,147,517	6,322,244	30,076,254	△5,153,783	24,922,471
セグメント利益	597,796	430,500	114,120	178,664	1,321,083	162,040	1,483,123

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去137,821千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等24,219千円が含まれております。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。